

地域活動における男女共同参画セミナー「地域のなでしこ会長を知ろう」の開催結果について

1 目 的

町内会等の地域活動における方針の立案及び決定に女性が参画することは、その運営に多様な視点が生まれるとともに、近年役員のなり手が不足している地域活動の新たな担い手の確保につながることを期待できる。このことから、女性町内会長等の自らの経験に基づいた事例発表を中心とするセミナーを開催し、地域活動における方針の立案及び決定への女性の参画について意識醸成を促す。

2 概 要

(1) 日 時

平成31年2月16日（土）10時～12時

(2) 会 場

合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ） マルチメディアスタジオ

(3) 参加者数

50名

(4) コーディネーター

広島市立大学国際学部 教授 金谷信子氏

(5) 内 容

ア 地域における男女共同参画の現状等説明（市民局男女共同参画課）

イ 女性町内会長等による事例発表

現在行っている町内会活動等の紹介、会長を務めることになった経緯、女性の代表就任による変化等

○事例発表者

・美鈴が丘まちづくり協議会 会長 松尾敏子氏

美鈴が丘地区社会福祉協議会 地域福祉推進委員 宮本暁子氏

・社会福祉法人広島市安芸区社会福祉協議会 会長 中島幸子氏

・庚午南連合町内会 会長 小田かよこ氏

ウ パネルディスカッション

「どのようにして地域活動に人を呼び込んでいるのか」「地域のしがらみをどのようにして乗り越えたのか」「組織のトップに立つことをためらう女性に、背中を押す一言を」など、参加者からの質問に答える形で実施した。

○パネリスト

・事例発表者

・井口鈴が台一丁目町内会 会長 七條忠氏

3 参加者の感想等

- ・大切なのは性別ではなく、リーダーの熱意だと思った。
- ・リーダーシップを持った女性の活動を頼もしく思った。
- ・子育て等を通じて地域に日頃から深く関わっている分、地域の課題にも敏感に気づき、それが活動にうまく生かされていると感じた。

